

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
天然記念物

関係のある情報

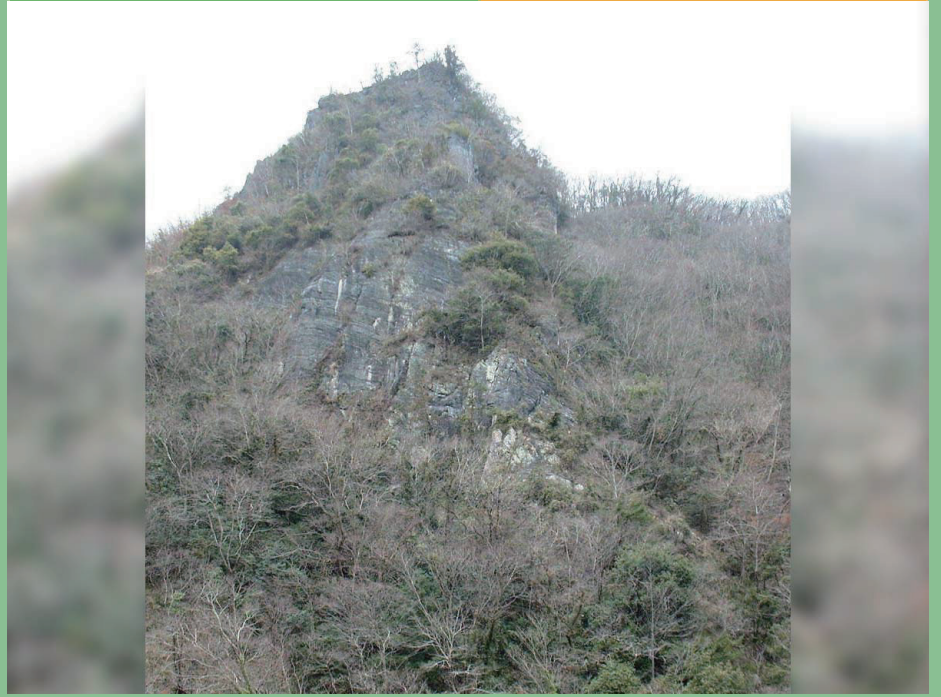
【場所】新見市金谷
【時代】不明
【指定年月日】昭和32年11月5日
【所有】個人
【見学】可



あてつだい（しまだけ） 阿哲台（縞嶽）

かんけい しまち
関係する市町

にいみ し
新見市



この天然記念物について

かなや てつたちょうはなぎ こうもと
金谷から哲多町花木にかけての一带（河本ダム周辺）には石
かこうがん せつしよくぶ
灰岩と花崗岩との接触部があり、スカルン帯を形成していま
たいせきがん ふんしゆつ
す。これらの堆積岩が、中生代の火成活動によって噴出した
かこうがん えいきよう
花崗岩の熱の影響を受けて、石灰岩は大理石に、チャートや
でいしつがん けいかいせき
泥質岩は珪灰石・ベスブ石・ざくろ石などを含むスカルンに変
ふうかしんしよく くぼ
化しました。石灰岩は風化浸食に弱いため窪み、スカルンは石
かた しんしよく
英を主体とし硬く浸食に強いため、全体として凹凸のある
しまじょう しまちよう
縞状の岩体となり、崖をつくっています。この縞模様から
しまだけ あてつだい
「縞嶽」と名づけられたものであり、阿哲台の地史を知る上で
も貴重な場所となっています。